

～令和7年 浦霞 夏詣酒への道 当日号～

早いもので今年も1年のほぼ半分が経過し、6月26日(木) イベント本番を迎えることとなりました。日本各地で『夏詣』の企画やイベントが行われるようになり、様々な場面で目にする機会も増えてきたと感じます。おかげさまで5年目を迎えた弊社「夏詣酒」の認知度も高まってきており、数量は前年を上回る5,052本(前年4,905本)の瓶詰めを行いました。これからも加盟店様とお客様との結びつきを強める大切な商品として重要な位置づけであり続けますよう、しっかりと取り組んで参ります。

さて、本日加盟店の皆様とともに神社に参拝し茅の輪をくぐり、罪穢れを祓い清め残り半年の息災を祈願いたしました。近年、米価をはじめとする物価高騰や国際的な紛争など、様々な憂いは尽きません。この「夏詣酒」は、「家内安全」「無病息災」「商売繁盛」「疫病退散」の願いを込め、お客様に日本酒のチカラで皆様が笑顔になれるひと時を創りたいとの想いを込めて造ったお酒ですので、ぜひご賞味いただきたいと願っています。



夏詣酒開会式



杜氏による説明



集合写真

夏詣酒 純米吟醸 浦霞

使用米 宮城県産ササニシキ

精米歩合 55%

アルコール度数 15度

日本酒度 +1

酸度 1.8

アミノ酸度 1.7

価格 1,880円(税別)



夏詣酒のきき酒を行う佐浦社長と山田杜氏

社長佐浦は、今期の夏詣酒について「フレッシュ感のある柑橘系やアプリコットを思わせる爽やかな香り、弾けるような酸と軽い甘味のあるジューシーでキレのある味わい」と述べました。また、今期初めて杜氏として造りを指揮した山田杜氏は『原料処理にはじまり、麴、酒母などそれぞれの担当と打ち合わせを重ねて臨み、その結果として良い出来のお酒になったと自負しています。今後皆様からの感想を伺い、来年の夏詣酒がより良い酒質となりますよう努めて参ります』と話しています。皆様どうぞ美味しくお召し上がりになりますようにと、社員一同心を込めて造ったお酒です。

2025年6月26日
浦霞醸造元(株)佐浦 中村 拓